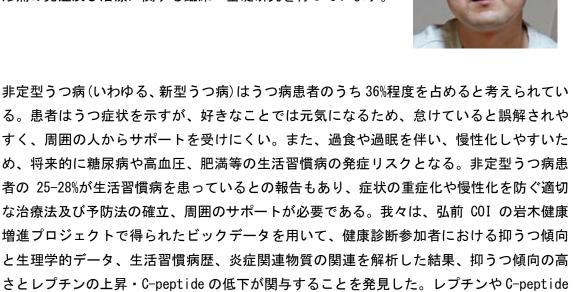
## 

名前 工藤 隆司

所属 弘前大学医学部附属病院 麻酔科

専門分野・キーワード:うつ、ペイン

自己紹介: 非定型うつ病や難治性うつ病、うつ症状を併発する 疼痛の発症及び治療に関する臨床・基礎研究を行っています。



現在、我々は未病の抑うつ傾向から非定型うつ病を予見するバイオマーカーとしてレプチン・C-peptide が有用かうつ病患者及びボランティアを対象に検討を進めている。また、周囲のサポートも含めた食事療法や運動等でレプチンや C-peptide の血中濃度をコントロールし、抑うつ傾向に改善がみられるかも今後検討したい。レプチン・C-peptide を非定型うつ病発症の早期予見バイオマーカーおよび早期発症予防ターゲットとして確立出来れば、非常に利用価値が高いと考えられる。

は食生活に関連する代謝関連物質であり、生活習慣病と関係することが知られている。興味深いことに、非定型うつ病患者は血中レプチン濃度が高値を示し、軽度~中程度のうつ症状が多いことが分かっている。我々の研究結果と併せると、健康な状態から非定型うつ

病が発症する過程にレプチンや C-peptide が関与することが示唆される。